



国家主義・改憲路線で一致し旧統一協会・自民党が癒着、岸田は安倍後継 大同団結し野党共闘推進を！ 前川喜平さん講演会に300人 9/13



た。2015年の「世界平和統一家庭連合」への名称変更認証は当時の文科大臣下村博文が、省内の反対を押し切って決めた。

- 前川さんは、大要次のように語りました。
- 「男尊女卑、極右路線」で通じた笹川良一・岸信介・文鮮明の結託が戦後ずっと続いてきた。
 - 安倍政権の文科大臣は一人除いて全員安倍派=清和会。公安・警察も押さえ、違法行為を裁判で断罪された旧統一協会の解散命令の回避を図ってきた。

- 故安倍への弔意表明強要は、権威を無批判で受容する国民づくりが狙い。宏池会の岸田はリベラル派と思われがちだが否である。近畿財務局職員で自死に追い込まれた故赤木俊夫さんの裁判で真相を明らかにさせないために「認諾」という卑怯な手を使った。岸田は、安保法・集団的自衛権路線下で防衛費2倍化・軍拡強行し、核兵器禁止条約には不参加、原発推進の安倍後継者である。
- 今、ネットには「民族排外主義」の言説があふれている。11月3日を「明治の日」にする動きもある。改憲4項目の一つ緊急事態条項設置は「例外的権力・権力の集中」が狙いだ。
- 私たちは、立憲主義に基づく大同団結—野党共闘を進め、自民政権に対抗していこう。

—今度は9月17日—

安倍国葬NO!!スタンディング、シール投票・署名
=毎週土曜日午後1時～郡山駅西口
ヨドバシカメラ前付近



県知事・市長村長の国葬参加、公費支出をやめよ！

国葬反対の世論が多数となっている中、内堀県知事、木幡福島市長、品川郡山市長らが参加を表明したのは見識が疑われる。首長の参加と職員随員、公費支出はやめるべきと声を上げよう。

第28回ミナセンなかどおり相談会

9月18日(日)午前10時～郡山教組会館

☆「前川講演会感想と取りくみ反省」「国葬反対行動」

「非核3原則請願否決問題」「県知事選・県議補選」など